



池水配道水江松



景全池水配

「創設時の床几山配水池」

満水位標高:31.21m

松江市の水道は、大正2年に給水人口5万人、一日最大給水量6,300 m^3 で事業認可を得、大正3年11月に事業に着工した。

計画は、「松江市南端字稻荷廻（俗に床几山という）の立陵頂上に設ける。その数2個にして給水人口5万人に対する一日の最大給水量約9時間の容積を有す」と概要に記されている。

配水池の規模は、長さ90尺(27.27m)、幅50尺(15.15m)、水深11尺5寸(3.48m)、2池、有効貯水量8万5,638立方尺(2,383 m^3)。

池水が停滞しないよう、5条の導水壁を築いている。